

サル・イノシシに気を付けましょう

わたしたちの身の回りでも、サルやイノシシが出没する事例が増えています。本来、野生動物は、自分よりも体の大きい人間を恐れるため、突然理由もなく襲ってくることはありません。逆に、人間と出会ったり気配を感じたりすると、野生動物の方が逃げていきます。

しかし、人間からエサをもらう経験をし、人間から追払いをされないと「人なれ」して次第にその行動は大胆になっていきます。

子ザルやウリ坊（イノシシの子ども）を「かわいいから」という気持ちだけで、エサをあげることは絶対にやめてください！

お年寄りや女性、子どもなど、追払いができない場合は、次のように対応してください。

サルの場合

1. 目を合わせないようにする
2. 騒いだり、近づいたりしない
3. その場から、静かに立ち去る



イノシシの場合

1. 騒いだり、近づいたりしない
2. その場から、静かに立ち去る
3. イノシシが近づいてきたら、
付近に建物があれば速やかに逃げ込む



追払いをするときのコツ

1. 見かけたら、すぐに追い払う

→人を見たら逃げるようになる

2. 大人数で追い払う

→集落や街中は「怖い」と思わせる

3. 飛び道具（花火など）を使う **（※使用の際は十分に注意すること！）**

→人から少し離れた場所や屋根の上など、野生動物にとって

「安全ではない」と思わせる



サルなどの逃げ場がない場所での追払いは、反撃してくる可能性があります。

周囲をよく確認してから行ってください。

サルやイノシシのエサになる場所を作らない！

野生動物がなぜ来るのか？一番の理由は「エサ」があるからです。人間には不要なものでも、野生動物にとってはごちそうです。地域で「エサ場」となっている場所がないか確認しましょう。

1. 野菜くずなどを畑に放置しない

2. 収穫しない不要な農作物を屋外に放置しない。

3. ペットのエサなどを屋外に放置しない。

ペットが食べたら速やかに回収する。

